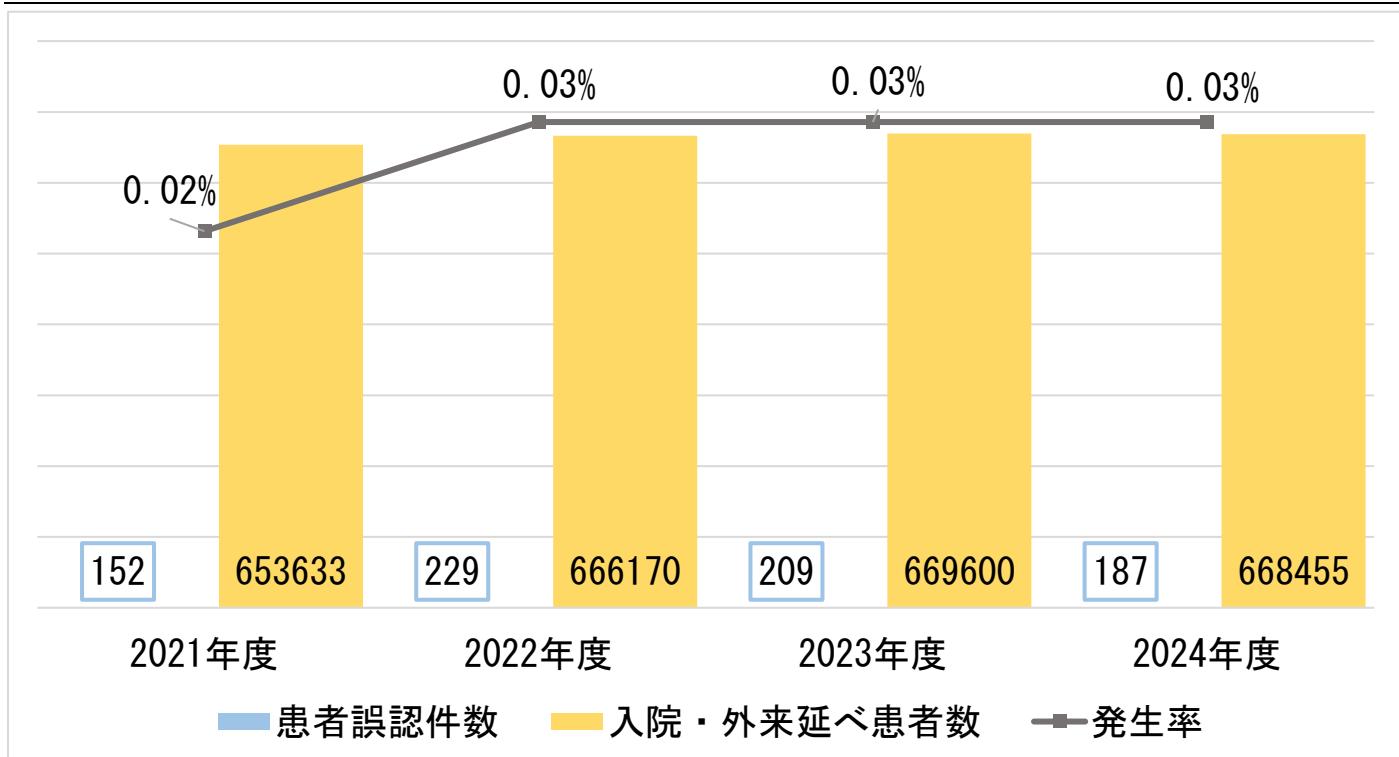


患者誤認発生率



■定義

$$\frac{\text{患者誤認件数}}{\text{入院・外来延べ患者数}} \times 100 = \text{患者誤認発生率}$$

■指標の解説

患者誤認は治療・処置に直結することから重大事故につながる危険性があり、発生件数を減らす取り組みが必要です。患者誤認の発生要因を分析し、有効な予防策を立案し、組織全体で共有、実践していくことが発生率の低減につながります。

■活動実績

外来診察室における患者確認の実態調査では、フルネームと生年月日を名乗ってもらう実施率は約2割でした。2つの患者情報を用いた患者確認手順の定着を促進しました。

セーフティーマネージャーによる院内医療安全巡視（毎月第3木曜日）では、患者確認手順を確認し、その巡視結果を該当部署のセーフティーマネージャーにフィードバックし、部署内での改善策を検討してもらうことができました。

全職員に「患者誤認防止」アンケート調査（10/21～11/13）を実施し、患者確認手順の認知度や実施率の向上には、新規採用時からの定期的な教育・周知と継続教育の必要性が明らかになりました。